

## ▼イソミタル原末 [内] (2024.3 販売中止)

【重要度】 【一般製剤名】アモバルビタル (U) Amobarbital 【分類】催眠鎮静剤

【単位】▼原末

【常用量】■不眠症：100～300mg■不安緊張時：100～200mg

【用法】■不眠症：寝る前■不安緊張時：分2

【透析患者への投与方法】治療上やむを得ない場合のみ使用 (1)

【その他の報告】尿中未変化体排泄率が低いため減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】療上やむを得ない場合のみ使用 (1)

【その他の報告】尿中未変化体排泄率が低いため減量の必要なし (5)

【特徴】中間または短時間のバルビツレート。入眠を容易にし、睡眠時間を確実に延長させるが、REM 睡眠は減少し、自然の睡眠とは異なる。長期使用により治療効果は減弱し、急激な服薬中止により、反跳現象として睡眠障害、REM 睡眠の増加を生ずる可能性がある。心循環器系、呼吸系、中枢神経系に対する抑制作用を持っており、1 回投与量は 500mg 以内が望ましい。

【主な副作用・毒性】SJS、知覚異常、構音障害、精神機能低下、せん妄、昏迷または運動失調。連用によりヘマトポルフィリン尿、蛋白尿、低 Ca 血症、巨血芽球性貧血など

【吸収】全消化管から容易に吸収される (1)

【F】100% (14)

【代謝】ハイドロキシアモバルビタルに代謝される (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 1%以下 (U) 0% (14) 投与量の 33～51%が水酸化体として排泄される (1)

【t1/2】25hr (16～40hr) (U) 21hr (14)

【蛋白結合率】61% (U)

【分布】1.1L/kg (14) 脳、腎、肝に高濃度に分布する (1)

【MW】226.27

【透析性】効率的には除去できないと思われる (5)

【TDM のポイント】1～8  $\mu$ g/mL (14) TDM の対象にならない

【効果発現時間】60 分以降

【効果持続時間】10～12 時間

【更新日】20230408

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。